



いとう やすお  
伊藤 康雄



しんわかい  
津和会

### 人口減少対策に特化した部署を設ける考えは

**問** 令和元年度に策定された第2期津市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の中で、津市は20年後には人口が23万5千人ほどに減少すると言われており、持続可能なまちづくりを推進しなければならない。10年、20年先を見据え、知恵を出さねば大変なことになる。「つぶれないまちをつくる」思いで、人口減少対策に特化した部署を設け進めていくべきでは。

### 政策課が中心となって取り組んでいく

**答** 三重県から人口減少対策課を設置するとの発表があったが、この課だけで全ての政策を行うのではなく、各部署で取り組むさまざまな人口減少対策を統括していくような、横の連携を図る役割とのことである。

津市においては、政策課がこの役割であることから、ここが中心となって、横の連携を図りながら、市全体として、各部署において人口減少対策に資するような政策をしっかりと推進していく。その取りまとめについては、課という形がいいのか、庁内の推進組織のようなものがあるのか、今後検討していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 上浜町大谷町第1号線外1路線道路改良事業について
- 河芸町島崎町線道路新設改良事業について
- 農業政策について
- 市道について
  - 市道の舗装状況は
  - 生活道路はすべて舗装を



▲市道において生活道路はすべて舗装を



かつら さん ばつ  
桂 三 発



いちごいちえ  
一期一会

### 中心市街地を漢方薬で体質改善するのか

**問** 中心市街地である大門・丸之内地区には、株式会社まちづくり津夢時風の時代から毎年補助金が出ている。

今回、ビジョンの策定からビジョンの実現までに向けたエリアプラットフォーム（漢方薬）が、どのように都市づくりに関わり、大門・丸之内地区の再生を進めていくのか。

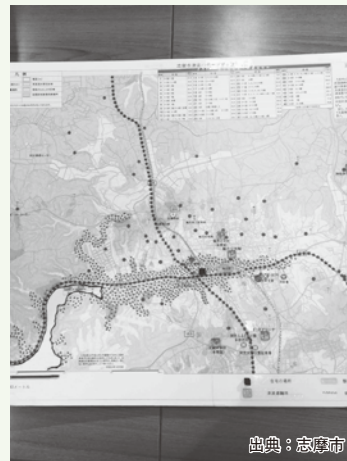
### 議論のなかで、機能的な手法を検討していく

**答** 官民連携のエリアプラットフォームにおいては、国の補助メニューを活用したシティプロモーションや情報発信等にとどまらず、事業が一過性のものにならないよう、場合によっては時間軸を長く捉えて議論し、例えば都市計画を変えることや、都市マスタープランに反映することも考えていく。

漢方薬で体質改善ができる部分もある一方、薬を飲む前に思い切って手術してほしいという声も地元から出ている。議論を深めるなかで、どのように進めるべきか、判断していく。

### ●その他の質疑・質問●

- 水泳指導業務委託事業について
- 庁舎内の防犯カメラについて
- 手で触るハザードマップについて
- イベントカレンダーについて



▲手で触るハザードマップ